

各 位

平成 26 年 10 月 31 日

会社名 マルマン株式会社

代表者名 代表取締役社長 出山 泰弘

(コード番号：7834)

問合せ先 専務取締役経営管理本部長 盧 康九

(TEL：03-3526-9970)

(訂正・数値データ訂正) 平成 26 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結) の訂正に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 6 日に開示いたしました「平成 26 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 26 年 10 月 27 日付「過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶことから訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____線を付して表示しております。

【訂正後】



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 マルマン（株）
 コード番号 7834 URL <http://www.maruman.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）出山 泰弘
 問合せ先責任者 （役職名）専務取締役経営管理本部長 （氏名）盧 康九 TEL 03-3526-9970
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成26年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	4,507	0.4	△415	—	△425	—	△855	—
25年9月期第3四半期	4,489	△8.9	△263	—	△483	—	△783	—

（注）包括利益 26年9月期第3四半期 △783百万円（-％） 25年9月期第3四半期 △630百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	<u>△69.92</u>	—
25年9月期第3四半期	<u>△70.72</u>	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	5,007	605	12.1	49.51
25年9月期	<u>5,702</u>	<u>1,402</u>	<u>24.6</u>	<u>114.69</u>

（参考）自己資本 26年9月期第3四半期 605百万円 25年9月期 1,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	1.6	△390	—	△420	—	△1,170	—	△95.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規1社 （社名）丸万（北京）商貿有限公司、除外1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期3Q	12,229,200株	25年9月期	12,229,200株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	425株	25年9月期	380株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期3Q	12,228,799株	25年9月期3Q	11,077,087株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や金融政策などにより、円高是正や株価の上昇が進み、企業収益の改善が進展しました。一方、海外ではウクライナ、イラク情勢が緊迫化するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

ゴルフ用品市場は、冬季の大雪など天候不順が消費に影響したこと、また、海外における新興国経済の減速や政情不安などにより市場の低調な状況が続いております。

健康食品市場は、市場規模は拡大傾向にあるものの、企業の新規参入に伴う市場競争が激しくなっており、また、消費税増税後の反動が続いたことなどで、厳しい経営環境下にあります。

このような経営環境の中、当社では、ゴルフ事業において、新ブランドの投入と主力ブランドのモデルチェンジを行い、商品構成の充実を図りました。健康食品事業では、健康食品、禁煙パイポの他、電動歯ブラシ、目覚まし時計などの雑貨品の取り扱いも積極的に進めてまいりました。

しかし、海外での販売不振や円安による仕入コストの増加、また、新ブランドの投入に伴う既存品の在庫整理等による損失が大きく、当第3四半期連結会計期間で業績は改善傾向にあるものの、それまでの損失をカバーするには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が4,507百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業損失が415百万円（前年同四半期は営業損失263百万円）、経常損失は425百万円（前年同四半期は経常損失483百万円）、四半期純損失は855百万円（前年同四半期は四半期純損失783百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ695百万円減少し、5,007百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他が179百万円及び棚卸資産が149百万円増加したものの、固定資産に係る貸倒引当金が421百万円増加したほか、有形固定資産の減損等による減少265百万円及び現金及び預金の減少180百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ101百万円増加し、4,401百万円となりました。これは主に長期借入金が219百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が117百万円、短期借入金が103百万円及び長期リース債務が64百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ797百万円減少し、605百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加が73百万円に対し、四半期純損失を855百万円計上したことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の通期業績予想につきましては、平成26年5月13日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、丸万（北京）商貿有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失及び経常損失を計上し、当期純損失については 2 期連続となりました。また、当第 3 四半期連結累計期間において業績の回復に努めたものの、営業損失、経常損失及び四半期純損失を計上しております。このような状況により、継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しておりますが、以下の経営戦略及び改善策を実行することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

①販売の回復と拡大

- ・利益率の高い商品開発（基礎研究の充実、ライフサイクル損益管理、開発リードタイムの短縮）
- ・新規取扱商品の拡大と充実した営業力及び販売ルートを背景とした積極的な市場導入
- ・市場動向に合わせた開発・製造体制の確立
- ・北米市場への再進出及び海外未取引地域の開拓
- ・健康食品等のネット販売の拡大
- ・ブランディング活動の促進等マーケティングの強化

②コスト削減

- ・内製化率の向上と製造原価及び物流経費の削減
- ・開発及び生産リードタイムの短縮と在庫削減
- ・人件費その他固定費の削減

③資金調達

- ・第三者割当等の資本の増強の検討
- ・取引先金融機関との良好な関係の維持

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,882	369,857
受取手形及び売掛金	1,345,587	1,353,824
商品及び製品	989,629	1,072,138
仕掛品	36,582	72,726
原材料及び貯蔵品	693,255	723,956
繰延税金資産	30,984	—
その他	353,481	203,433
貸倒引当金	△90,609	△88,964
流動資産合計	<u>3,908,794</u>	<u>3,706,971</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,628	170,331
土地	764,786	517,756
その他（純額）	61,549	111,929
有形固定資産合計	<u>1,065,964</u>	<u>800,017</u>
無形固定資産	11,373	27,319
投資その他の資産		
投資有価証券	117,893	113,437
固定化営業債権	578,694	578,694
長期未収入金	349,400	347,955
その他	125,168	305,046
貸倒引当金	△466,171	△887,716
投資その他の資産合計	<u>704,984</u>	<u>457,416</u>
固定資産合計	<u>1,782,322</u>	<u>1,284,754</u>
繰延資産		
開業費	11,295	15,387
繰延資産合計	<u>11,295</u>	<u>15,387</u>
資産合計	<u>5,702,413</u>	<u>5,007,113</u>

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,995	1,026,179
短期借入金	917,782	1,021,705
未払金	263,183	282,410
リース債務	6,094	19,828
未払法人税等	17,902	12,409
製品保証引当金	9,482	11,911
返品調整引当金	47,382	49,932
その他	66,606	73,926
流動負債合計	2,237,431	2,498,305
固定負債		
長期借入金	1,951,980	1,732,515
製品保証引当金	12,264	11,034
訴訟損失引当金	52,909	47,155
リース債務	3,986	68,457
資産除去債務	8,770	8,783
その他	32,574	35,393
固定負債合計	2,062,485	1,903,339
負債合計	4,299,916	4,401,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,492	1,196,492
資本剰余金	762,130	762,130
利益剰余金	<u>△479,699</u>	△1,348,487
自己株式	△160	△166
株主資本合計	<u>1,478,763</u>	609,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	42
繰延ヘッジ損益	1,720	—
為替換算調整勘定	△77,999	△4,542
その他の包括利益累計額合計	<u>△76,267</u>	△4,500
純資産合計	<u>1,402,496</u>	605,469
負債純資産合計	<u>5,702,413</u>	5,007,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,489,830	4,507,406
売上原価	2,723,627	2,870,364
売上総利益	1,766,202	1,637,041
販売費及び一般管理費	2,029,924	2,053,000
営業損失(△)	△263,721	△415,959
営業外収益		
受取利息	6,444	2,506
為替差益	164,132	—
デリバティブ解約益	—	11,342
負ののれん償却額	26,968	26,968
持分法による投資利益	—	40,402
賠償金収入	—	7,913
その他	36,511	9,535
営業外収益合計	234,056	98,667
営業外費用		
支払利息	89,582	89,026
為替差損	—	11,651
持分法による投資損失	356,681	—
その他	7,613	7,837
営業外費用合計	453,878	108,515
経常損失(△)	△483,543	△425,807
特別利益		
投資有価証券売却益	—	107,643
関係会社株式売却益	—	283,362
受取補償金	25,000	—
受取和解金	—	34,005
その他	862	3,473
特別利益合計	25,862	428,485
特別損失		
固定資産除却損	4,060	—
減損損失	—	349,908
損害賠償金	36,655	—
訴訟損失引当金繰入額	53,909	—
貸倒引当金繰入額	410,496	451,916
長期前払費用償却	2,474	—
その他	—	17,761
特別損失合計	507,596	819,587
税金等調整前四半期純損失(△)	△965,277	△816,909
法人税、住民税及び事業税	8,479	7,178
法人税等調整額	△190,440	30,984
法人税等合計	△181,960	38,163
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△783,316	△855,072
四半期純損失(△)	△783,316	△855,072

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△783,316</u>	<u>△855,072</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	30
繰延ヘッジ損益	70,016	△1,720
為替換算調整勘定	△937	△2,488
持分法適用会社に対する持分相当額	83,819	75,946
その他の包括利益合計	<u>152,906</u>	<u>71,767</u>
四半期包括利益	<u>△630,410</u>	<u>△783,305</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△630,410</u>	<u>△783,305</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

【訂正前】



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 マルマン（株）
 コード番号 7834 URL <http://www.maruman.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）出山 泰弘
 問合せ先責任者 （役職名）専務取締役経営管理本部長 （氏名）盧 康九 TEL 03-3526-9970
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成26年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	4,507	0.4	△415	—	△425	—	△1,132	—
25年9月期第3四半期	4,489	△8.9	△263	—	△124	—	△411	—

（注）包括利益 26年9月期第3四半期 △1,060百万円（-％） 25年9月期第3四半期 △258百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	<u>△92.59</u>	—
25年9月期第3四半期	<u>△37.18</u>	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	5,007	605	12.1	49.51
25年9月期	<u>5,710</u>	<u>1,410</u>	<u>24.7</u>	<u>115.32</u>

（参考）自己資本 26年9月期第3四半期 605百万円 25年9月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	1.6	△390	—	△420	—	△1,170	—	△95.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規1社 （社名）丸万（北京）商貿有限公司、除外1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期3Q	12,229,200株	25年9月期	12,229,200株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	425株	25年9月期	380株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期3Q	12,228,799株	25年9月期3Q	11,077,087株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や金融政策などにより、円高是正や株価の上昇が進み、企業収益の改善が進展しました。一方、海外ではウクライナ、イラク情勢が緊迫化するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

ゴルフ用品市場は、冬季の大雪など天候不順が消費に影響したこと、また、海外における新興国経済の減速や政情不安などにより市場の低調な状況が続いております。

健康食品市場は、市場規模は拡大傾向にあるものの、企業の新規参入に伴う市場競争が激しくなっており、また、消費税増税後の反動が続いたことなどで、厳しい経営環境下にあります。

このような経営環境の中、当社では、ゴルフ事業において、新ブランドの投入と主力ブランドのモデルチェンジを行い、商品構成の充実を図りました。健康食品事業では、健康食品、禁煙パイポの他、電動歯ブラシ、目覚まし時計などの雑貨品の取り扱いも積極的に進めてまいりました。

しかし、海外での販売不振や円安による仕入コストの増加、また、新ブランドの投入に伴う既存品の在庫整理等による損失が大きく、当第3四半期連結会計期間で業績は改善傾向にあるものの、それまでの損失をカバーするには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が4,507百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業損失が415百万円（前年同四半期は営業損失263百万円）、経常損失は425百万円（前年同四半期は経常損失124万円）、四半期純損失は1,132百万円（前年同四半期は四半期純損失411百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ703百万円減少し、5,007百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他が179百万円及び棚卸資産が149百万円増加したものの、固定資産に係る貸倒引当金が421百万円増加したほか、有形固定資産の減損等による減少265百万円及び現金及び預金の減少180百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ101百万円増加し、4,401百万円となりました。これは主に長期借入金が219百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が117百万円、短期借入金が103百万円及び長期リース債務が64百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ804百万円減少し、605百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加が73百万円に対し、四半期純損失を1,132百万円計上したことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の通期業績予想につきましては、平成26年5月13日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、丸万（北京）商貿有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失及び経常損失を計上し、当期純損失については2期連続となりました。また、当第3四半期連結累計期間において業績の回復に努めたものの、営業損失、経常損失及び四半期純損失を計上しております。このような状況により、継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しておりますが、以下の経営戦略及び改善策を実行することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

①販売の回復と拡大

- ・利益率の高い商品開発（基礎研究の充実、ライフサイクル損益管理、開発リードタイムの短縮）
- ・新規取扱商品の拡大と充実した営業力及び販売ルートを背景とした積極的な市場導入
- ・市場動向に合わせた開発・製造体制の確立
- ・北米市場への再進出及び海外未取引地域の開拓
- ・健康食品等のネット販売の拡大
- ・ブランディング活動の促進等マーケティングの強化

②コスト削減

- ・内製化率の向上と製造原価及び物流経費の削減
- ・開発及び生産リードタイムの短縮と在庫削減
- ・人件費その他固定費の削減

③資金調達

- ・第三者割当等の資本の増強の検討
- ・取引先金融機関との良好な関係の維持

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,882	369,857
受取手形及び売掛金	1,345,587	1,353,824
商品及び製品	989,629	1,072,138
仕掛品	36,582	72,726
原材料及び貯蔵品	693,255	723,956
繰延税金資産	38,731	—
その他	353,481	203,433
貸倒引当金	△90,609	△88,964
流動資産合計	<u>3,916,540</u>	<u>3,706,971</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,628	170,331
土地	764,786	517,756
その他（純額）	61,549	111,929
有形固定資産合計	<u>1,065,964</u>	<u>800,017</u>
無形固定資産	11,373	27,319
投資その他の資産		
投資有価証券	117,893	113,437
固定化営業債権	578,694	578,694
長期未収入金	349,400	347,955
その他	125,168	305,046
貸倒引当金	△466,171	△887,716
投資その他の資産合計	<u>704,984</u>	<u>457,416</u>
固定資産合計	<u>1,782,322</u>	<u>1,284,754</u>
繰延資産		
開業費	11,295	15,387
繰延資産合計	<u>11,295</u>	<u>15,387</u>
資産合計	<u>5,710,159</u>	<u>5,007,113</u>

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,995	1,026,179
短期借入金	917,782	1,021,705
未払金	263,183	282,410
リース債務	6,094	19,828
未払法人税等	17,902	12,409
製品保証引当金	9,482	11,911
返品調整引当金	47,382	49,932
その他	66,606	73,926
流動負債合計	2,237,431	2,498,305
固定負債		
長期借入金	1,951,980	1,732,515
製品保証引当金	12,264	11,034
訴訟損失引当金	52,909	47,155
リース債務	3,986	68,457
資産除去債務	8,770	8,783
その他	32,574	35,393
固定負債合計	2,062,485	1,903,339
負債合計	4,299,916	4,401,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,492	1,196,492
資本剰余金	762,130	762,130
利益剰余金	<u>△471,952</u>	△1,348,487
自己株式	△160	△166
株主資本合計	<u>1,486,509</u>	609,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	42
繰延ヘッジ損益	1,720	—
為替換算調整勘定	<u>△77,999</u>	△4,542
その他の包括利益累計額合計	<u>△76,267</u>	△4,500
純資産合計	<u>1,410,242</u>	605,469
負債純資産合計	<u>5,710,159</u>	5,007,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,489,830	4,507,406
売上原価	2,723,627	2,870,364
売上総利益	1,766,202	1,637,041
販売費及び一般管理費	2,029,924	2,053,000
営業損失(△)	△263,721	△415,959
営業外収益		
受取利息	6,444	2,506
為替差益	164,132	—
デリバティブ解約益	—	11,342
負ののれん償却額	26,968	26,968
持分法による投資利益	2,175	40,402
賠償金収入	—	7,913
その他	36,511	9,535
営業外収益合計	236,231	98,667
営業外費用		
支払利息	89,582	89,026
為替差損	—	11,651
その他	7,613	7,837
営業外費用合計	97,196	108,515
経常損失(△)	△124,685	△425,807
特別利益		
投資有価証券売却益	—	107,643
関係会社株式売却益	—	13,901
受取補償金	25,000	—
受取和解金	—	34,005
その他	862	3,473
特別利益合計	25,862	159,023
特別損失		
固定資産除却損	4,060	—
減損損失	—	349,908
損害賠償金	36,655	—
訴訟損失引当金繰入額	53,909	—
貸倒引当金繰入額	410,496	451,916
長期前払費用償却	2,474	—
その他	—	17,761
特別損失合計	507,596	819,587
税金等調整前四半期純損失(△)	△606,419	△1,086,370
法人税、住民税及び事業税	8,479	7,178
法人税等調整額	△203,049	38,731
法人税等合計	△194,570	45,909
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△411,849	△1,132,280
四半期純損失(△)	△411,849	△1,132,280

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△411,849</u>	<u>△1,132,280</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	30
繰延ヘッジ損益	70,016	△1,720
為替換算調整勘定	△937	△2,488
持分法適用会社に対する持分相当額	83,819	75,946
その他の包括利益合計	<u>152,906</u>	<u>71,767</u>
四半期包括利益	<u>△258,943</u>	<u>△1,060,513</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△258,943</u>	<u>△1,060,513</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。